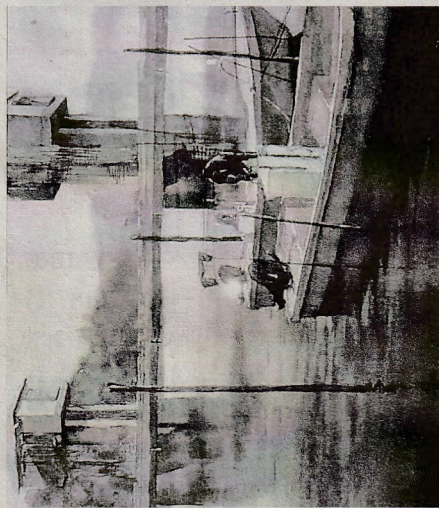


今「鳥取」で、 声高らかに

2日から「ビルト展」

ジャンルに縛られない若手の絵画作品を集めた「ビルト展」が昨年に続き4月2日から鳥取市丸山町のギヤラリー1330で開かれる。新型コロナウイルスの世界的な流行によって、社会の在り方は大きく変わった。鳥取にいても、東京の展覧会をオンラインで簡単に見られるように、今や都会で得られるものは地方でも容易になった。

だから、今、私は「鳥



画「水門」、水彩画

取」で作品展をやるというにはおそろしく、東京でやることより、アドバンテージがあると思う。「作品展は都会でやらないといけない」という人がいるかもしれないが、それは「鳥取でやることの意義」とは全く質もベクトルも違つものだと考える。

現代の若者はいとも簡単に世界にアクセスし、世界を貪欲に吸収する。そして自分たちのビビッドに輝く世界を築き上げる。私たちも世界に触れて、鳥取という地を見る。そこで見る景色の解像度は多様で、それぞれの視界の中でアートを描く。その表現の媒体が絵画やイラストなどに現れてくると思う。

作品にはおのおのが見いだす「解答≒作品」は、私たちが知らずとも「鳥取

が見え隠れする。「鳥取」は個性となって現れてくるのだ。だから、私は「この地で作品制作をやっているんだ」と自信をもって言える。

ビルト展に集った若者たち。

お世辞も、恐れ

も、恥も、何もかも、声高らかに響かせよう。

(宮北温夫・鳥取大地域学部4年)

◇「ビルト展」は4月2〜6日、鳥取市丸山町のギヤラリー1330で。